

新冷戦時代の緩衝国家

緩衝国家

敵対する大きな国家や軍事同盟の狭間に位置し、武力衝突を防ぐクッションになっている国である。その敵対するいずれの大国も、このクッションを失うと自分達の本土に危険が及ぶと考えるため、軍事侵攻され実際の被害を被る可能性が、普通の国より格段に高く、しばしば代理戦争の戦場となる。

代理戦争

大国が関与する分断国家の政権もしくは反政府勢力に、その大国を敵と見なす別の大国が武力を供与し、自らは血を流さず敵国を弱体化する試み。

トリップワイヤー化

トリップワイヤー=「仕掛け線」とは、抑止戦略論上の専門用語。超大国や軍事同盟が、敵国の軍事力に均衡するよりずっと小さい兵力をその敵国の間近の**緩衝国家**に置くこと。つまり、なるべく安上がりな軍事供与で、挑発する装置を敵国の目の前の**緩衝国家**に置き、有事になったらその**緩衝国家を犠牲にして**敵国の進軍を遅らせるという考え方。



2017 PACC-X • PAMS-XLI • SEL-III

Unity of Effort: Building Civil-Military Partnerships in Land Force Response to Non-traditional Security Issues

2017 PACC & PAMS



PACC-X 2017 SEOUL



2017 PACC & PAMS

2017 PACC & PAMS



PAMS-XLI 2017 SEOUL







**United Nations Command
Military Armistice Commission
(UNCMAC)
Conference Building**



VS



朝鮮国連軍

朝鮮国連軍は、安保理の権限が及ぶ国連の下部組織として発動されたものではなく、それがアメリカ合衆国の責任の下に置かれることを条件に、単にその創設を奨励しただけのものである。よって、朝鮮国連軍の解消は、安保理を含む国連のいかなる組織の責任ではなく、すべてはアメリカ合衆国の一存で行われるべきである

1997年ブトロス・ガリ国連事務総長

国連が解消できない国連軍

実働するゾンビ

朝鮮国連軍地位協定

米朝開戦によって、日本は“自動的”に
国際法上の「交戦国」になる

朝鮮国連軍地位協定

日米地位協定

地位協定とは何か

駐留軍と現地政府「主権」の関係

戦時

準戦時

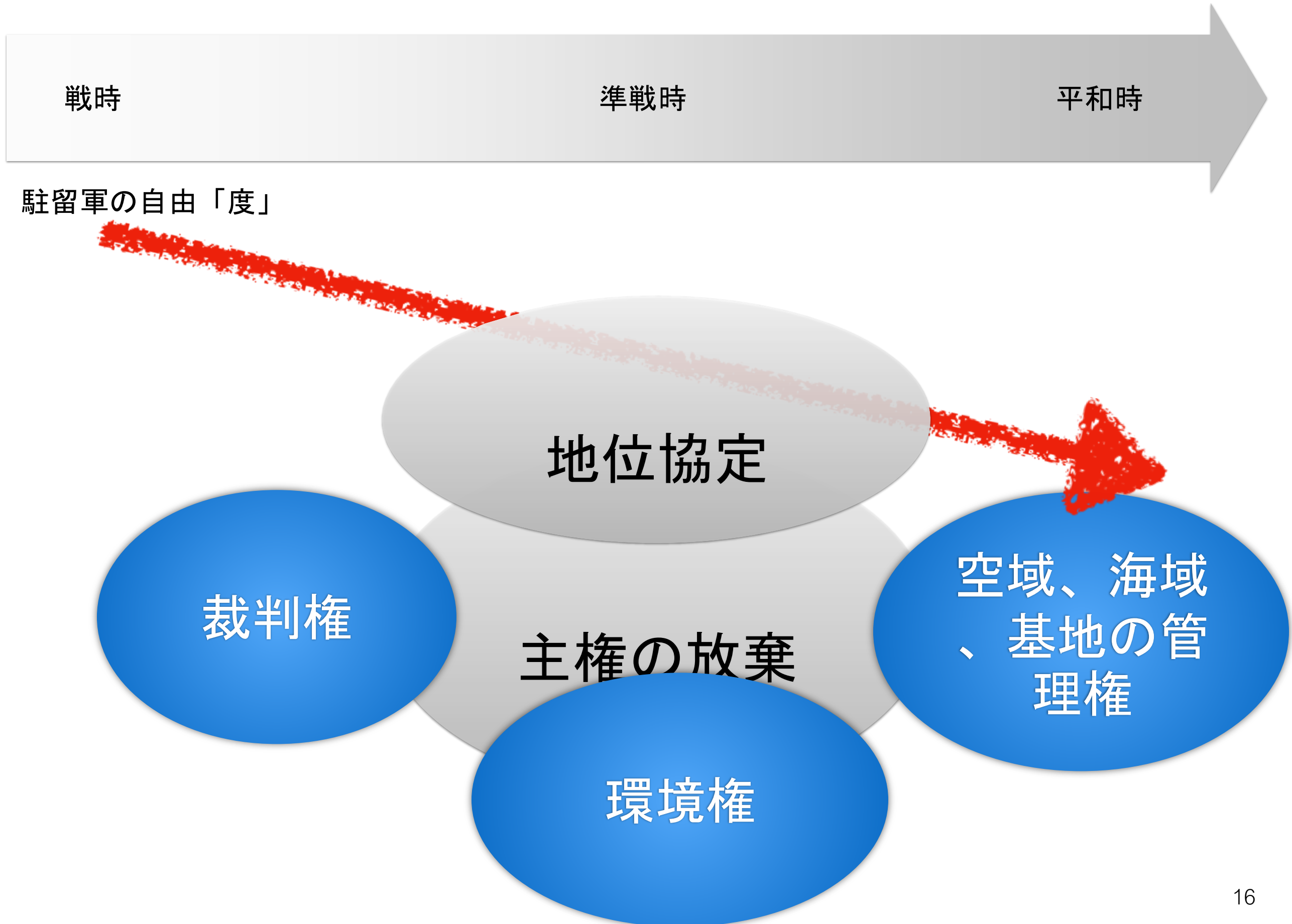
平和時

駐留軍
の法

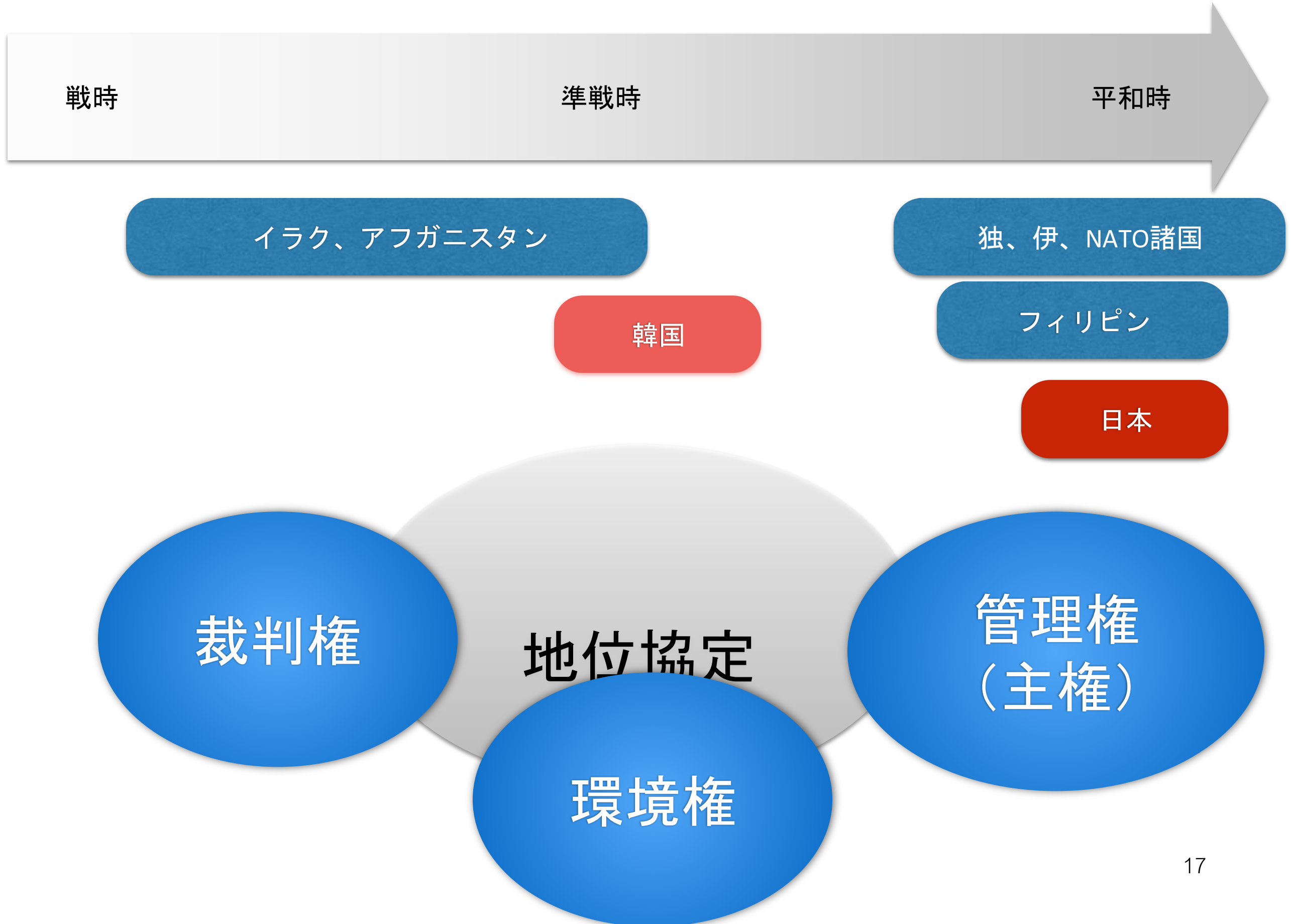
競合

現地法

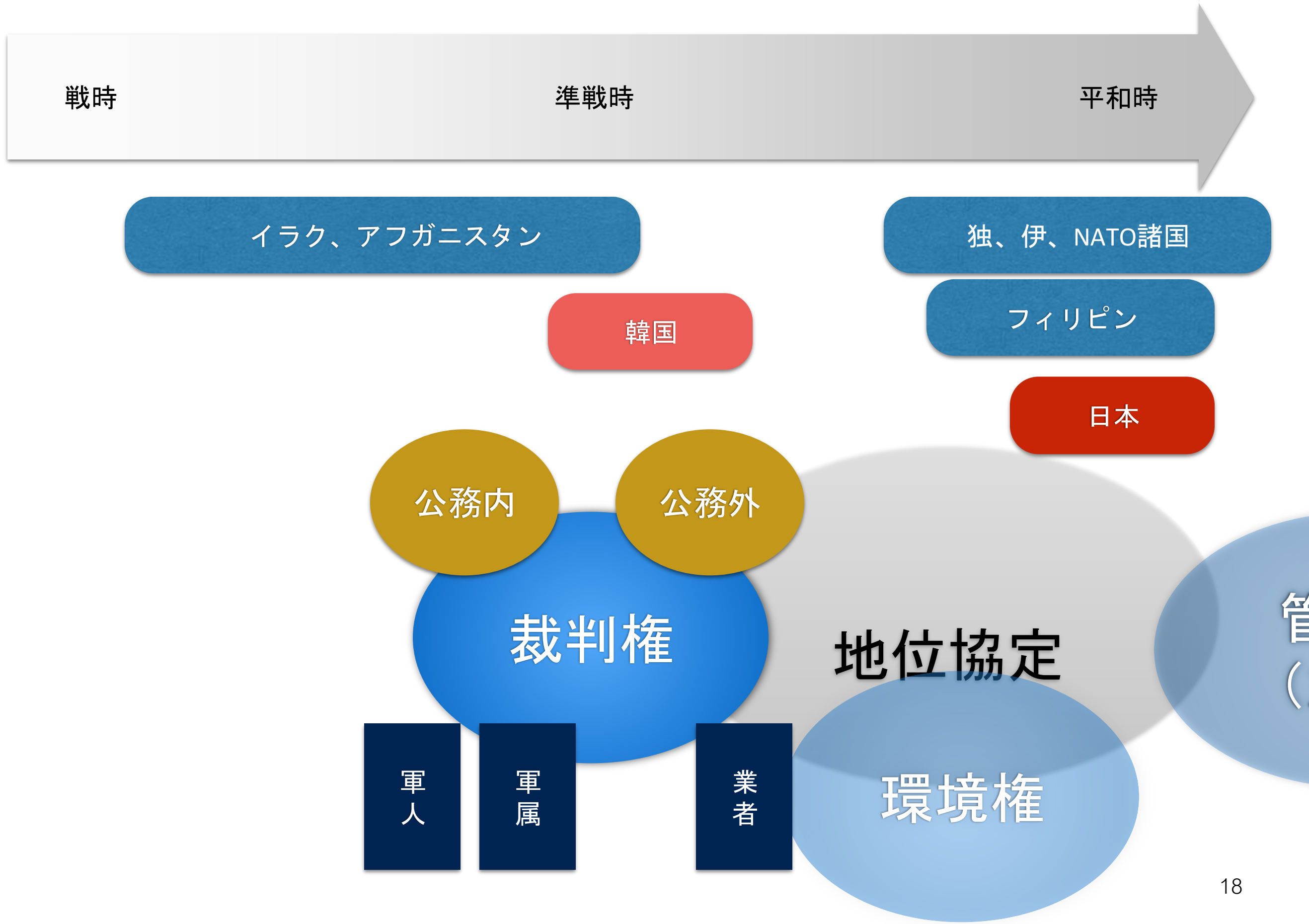
駐留軍と現地政府「主権」の関係

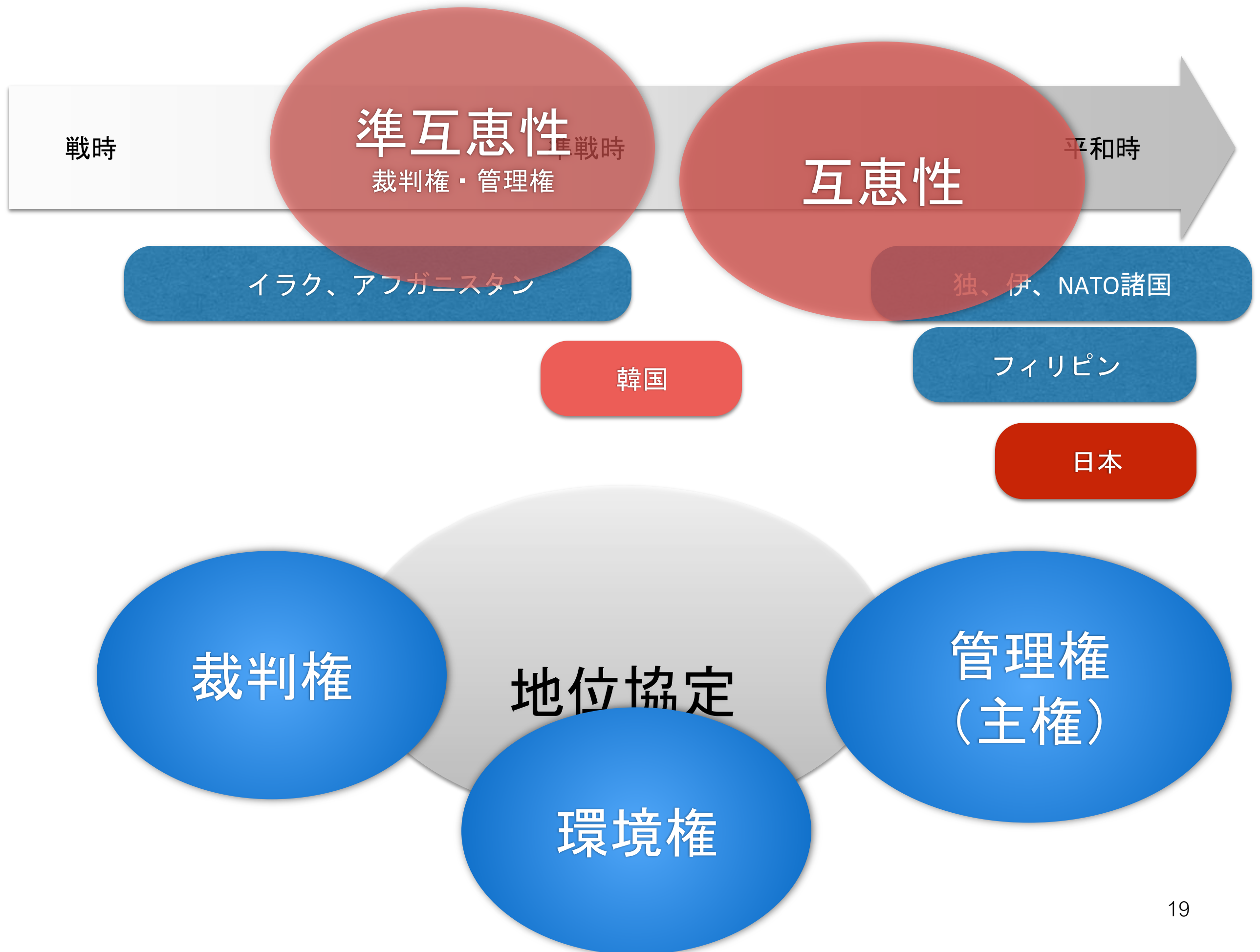


アメリカが持つ地位協定



特に裁判権





伊勢崎賢治
布施祐仁

主権なき 平和国家

地位協定の
国際比較からみる
日本の姿

米軍基地を抱える親米国家は数
多あれど、米軍の「完全自由」
を許すのは日本だけ

集英社

【自由なき駐留】が世界標準

緩衝材国家

